

外来化学療法センターのご案内

－ 治療を受けられる方へ－



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院

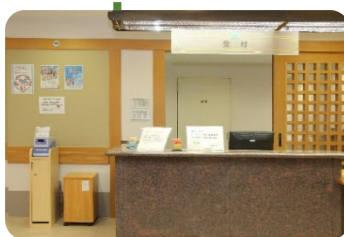
1. 外来化学療法センター

通院での治療について患者さんご家族から、「治療を外来のどこで
するの」、「自宅で副作用が出たらどうしたらいいの」と質問されます。
患者さんご家族が普段の生活を続けながら治療を受けていただけるよう
医師、薬剤師、医療相談員、看護師など専門職種が協力してサポート
を行っていきます。パンフレットには、確実に安全に安心して治療が続
けられるよう、患者さんご家族の方に知っていただきたい内容を記載
しております。ご質問・ご相談など、スタッフにお気軽におたずねくだ
さい。

スタッフ一同

外来棟2階の地図と風景

1 階の外来ホールエレベーターより2階に上がります
外来化学療法センターの受付は **2-10** です



2. 受付から診察までの流れ

1 受付

- 再来受付機に診察券を通してください
- **本日のご予定表**に記載されている順番に進んでください

2 採血

- 採血の結果が分かるまでに**約1時間**かかります



採血ルーム

3 測定（各診療科）

- 身長・体重と血圧を測ります
- 測定した紙を、医師または看護師にお渡しください
- 測りにくい方は、事務、看護師にお声かけください



血圧計, 身長と体重計

4 診察

（場所：各診療科もしくは外来化学療法センター）

- 診察券を到着確認機に通して受付してください
- 診察室は、【本日のご予定表】に記載されている場所を確認して来室してください
- 診療アシスタント・看護師が診察前に検温を行います。
- 問診票もしくは生活のしやすさ質問票を使用している方は、事前に面談をする場合があります

3. 診察後から治療までの流れ

5 調剤・事務手続き

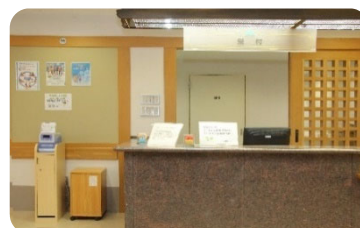
- 治療の決定後、薬剤師が点滴を調剤します
- 点滴の準備に **約1時間30分**かかります
- 待ち時間にお食事や買い物をして
お過ごしください



調剤中の様子

6 治療（2－10）

- 外来化学療法センターに到着されたら
診察券を**到着確認機**に通してください
- 予定表の予約時間に合わせて、看護師
が治療室へご案内します



センターの入り口

＊診察が遅れると予約時間も遅れることをご了承下さい

＊早めにベッドでの休養をご希望される方は、受付に声をかけて下さい

7 会計（1－16）

- 治療がすべて終了したら会計が行えます
- 次回の予約券と薬の引き換え券が出ます

8 内服薬の受け取り（1－17）

- 忘れずにお持ち帰りください

9 帰宅

4. 外来化学療法センターでの過ごし方

- ベッドとリクライニングチェアがあります。（下記写真参照）
- 服装は自由です
パジャマに着替えて治療を受けていただくこともできます
- 飲食はお部屋でできます
 - * 点滴部位の安静の確保のため、お食事はできれば待ち時間に食べていただくか、軽食をご用意ください
 - * 衛生面の問題から冷蔵庫・ゴミ箱を設置しておりません
ゴミは各自でお持ち帰りください
- 安楽に治療を受けていただくために
 - * 各部屋にテレビがあります。イヤホンは各自でご用意下さい
忘れた場合は、消音もしくは購入（100円）をお願いします
 - * 携帯電話はマナーモードにし通話はお控えください
- 安全に治療を受けていただくために
 - * 点滴を開始したらセンターの外には出ないようお願いします



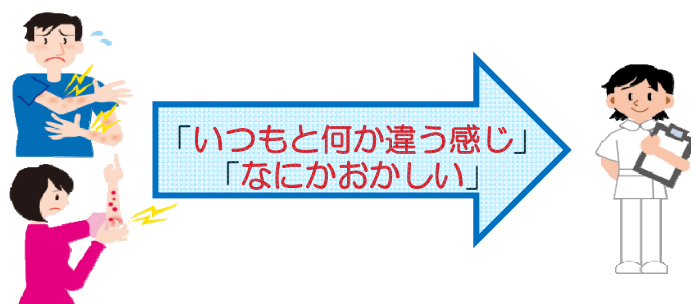
室内の様子



5. 治療中の注意点

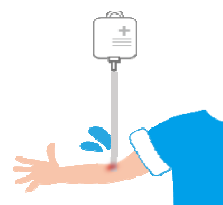
1 過敏症反応

- 点滴が体質に合わないと、体にさまざまな症状が出ます
- 前触れとなる症状としてよくあるのは、ほてり感、寒気、動悸、口唇のしびれ感、ムズムズした感じです
- このほか、かゆみ、発疹、紅潮、息苦しさ、腹痛、嘔吐、下痢、血圧低下、意識障害を生じることがあります
- 点滴中に「いつもと違う感じ」、「なにかおかしい」と感じたら、我慢せずすぐに看護師を呼んでください



2 血管外漏出

- 血管外漏出とは、治療のお薬が血管の外に漏れてしまうことです
- 点滴中、針を刺している場所に違和感や痛み、腫れ、発赤が生じたときは、すぐに看護師にお知らせください
- 看護師から事前に声をかけられている方、ご不安な方は、トイレの前・後に看護師を呼んでください
トイレに行ったあとは特に注意が必要です
- 薬剤が漏れたときは、処置が必要な場合もあります



3 転倒・転落



- 治療の副作用によって眠気や足のしびれなどが出ることがあります
- ベッドやリクライニングチェアから立ち上がる時や歩行するときには、足元に気をつけてください。
- 靴は滑りにくいものを選んでください。
- 歩行にご不安な方やふらつきを感じられたら、遠慮なく看護師にご連絡ください
- 患者さんと相談して、転倒予防のためのラベル（プラスワンパス）を点滴棒につけさせていただくことがあります

4 施設内について



- 薬剤を使用する場のため、看護師は眼の保護、ガウン、イメージ図マスク、手袋を着用しています
- 2020年4月より感染対策のため、治療スペース内への付き添いの方の入室を禁止しております。個別に対応が必要な方の場合は、スタッフにご相談ください
- パクリタキセルの治療を受ける方は、アルコール製剤が含まれるためご自身が運転するお車での来院はお控えください
- 当センターは予約制となっておりますが、連休明けなどは大変混むことがあります。予約時間を過ぎても呼ばれない場合は受付にお尋ねください
- センター内入り口のアイビースマイルのコーナーには、副作用への対応、患者会、アピアランス（外見）ケアについての情報や、パンフレットをご用意しております。



5 高額療養費制度について

- 高額療養費制度は、病院で支払った医療費の自己負担額が、**同じ月の中**で一定限度額を超えた場合、申請によりその超えた額が支給される制度です
- **事前に**各保険者に**申請**して「**限度額適用認定証**」の交付を受け、それを医療機関の窓口に提示することで、医療機関への支払いは自己負担額までとなります

＜自己負担限度額の関連事項＞

- ＊ご年齢や所得状況によって自己負担額は異なります。また、同じ月に世帯内で医療費負担が多数発生した場合や、過去12か月以内に4回以上高額療養費の該当月があった場合など払い戻しが受けられる可能性があります
- 手続きなど詳細な説明をご希望の方は、1-57がん相談支援センターをご紹介します
- 限度額適用認定証をお持ちの方は、保険証と合わせて、外来の各診療科の窓口へご提示ください
- ＊ マイナンバーカードを健康保険証として使用できる方は、限度額適用認定証の交付申請は不要です。ただし、自治体独自の医療費助成については対応していませんので、ご持参ください。



6. 日常生活上の注意点

1 外出について

- マスクを着用し、人の多い場所はさけましょう
- 帰宅した際には手洗い・うがいを行いましょう
- 体が疲れやすくなるため、外出は無理のない程度に行いましょう
- 十分に休息し、自分のペースで行動しましょう



2 食事・タバコ・お酒

- 生ものは新鮮なものを使用し、野菜などはよく洗ってください
- 喫煙は口内炎の原因や治療効果にも影響があるため、禁煙しましょう
- お酒を飲まれる方は主治医にご相談ください

3 清潔

- 毎食後に歯磨きをしましょう
- 口の中を乾燥させないよう、うがいをしましょう
- 口内炎ができていないか口の中を1回/日は観察しましょう
- 入浴の制限はありません
- ストーマの方は、治療のため皮膚トラブルがでることがあるため
装具を貼っている皮膚に異常が出たら主治医に相談しましょう

4 予防接種・歯科受診

- インフルエンザなどの予防接種については、接種する時期を主治医にご相談ください
- 歯科治療は、感染や出血への注意が必要な場合がありますので、歯科を受診する前にあらかじめ、主治医にご相談ください

5 性生活

- 治療によって男性、女性ともに生殖機能に影響が及ぶ可能性があります。治療の影響について、パートナー、家族、医療者と話し合う必要があります
- 治療中は男女ともに避妊が必要です
- 血球減少時期には感染のリスクが高まるため、コンドームの使用を心がけ、性生活を控えましょう
- パートナーと手をつなぐなどのスキンシップは大丈夫です
- 治療終了後の避妊が必要な期間については、主治医にご相談ください
- 性生活に対するご質問は看護師・医師に遠慮なくご相談ください

6 発熱した場合

- 主治医に指示された体温の上昇、主治医の指示がなければ38.0℃以上の発熱を認める場合は、電話相談もしくは受診をしましょう

7. 抗がん薬の周囲への影響

- 抗がん薬は種類にもよりますが、吐物や汗などの体液や排泄物に、一定の期間（**最低限約48時間**）は含まれていることが明らかになっています。
- 患者さんと家族の身体に影響を及ぼさないよう、一定期間（**最低限約48時間**）は、ご家庭でも注意しましょう。

1 排泄

- トイレは、尿が飛び散らないよう男性の方も座しましょう
- 使用後は、ふたを閉めて流しましょう。
水量や水圧が不十分な場合は2回流しましょう
- オムツやパットに触れる場合は、使い捨て手袋を着用しましょう
- 使用済みのオムツやパッドは、ビニール袋に入れて口元をしっかりと閉じましょう。ビニール袋が薄手の場合、漏れないよう二重に入れて捨てましょう
- ストーマの方は、使い捨て手袋を着用して排泄処理をしましょう
- ストーマのパウチは使い捨てにしましょう
- 排泄後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう
- 家族の方がケアを行われる場合は、手袋とマスクを着用しましょう

2 吐物の取り扱い

- 家族の方が取り扱う場合は、手袋とマスクを着用し、吐物や拭き取ったペーパー類をビニール袋に入れて口元をしっかりと閉じて捨てましょう。
- 処理を終えたら石けんと流水で十分に手を洗いましょう

3 洗濯・入浴

- 普段は、特別な取り扱いはありません
- 便や尿、吐物などの排泄物により汚れた場合は、他の洗濯物とは区別し、手袋をして2度洗いしましょう。1回目はほかの洗濯物と区別して予洗いしたのちに、2回目は通常の洗濯を行いましょう

4 内服の抗がん薬について

<飲む前>

- 手を洗いましょう

<飲むとき>

- 薬は、なるべく自分で飲みましょう
- 錠剤およびカプセル剤を切断、粉砕はしないでください
- 薬に直接触れないように、紙コップや容器に薬を入れて飲みましょう
- 介助者の方は、使い捨て手袋を使用しましょう



<飲んだ後>

- 飲み終わった薬の包装シートは、ビニール袋に入れて口元を閉じて捨てましょう
- 薬を飲んだ後は、石けんと流水で十分に手を洗いましょう
- 飲みにくいときは主治医、薬剤師、看護師にご相談ください
- 薬はお子様やペットの手が届かない場所に保管しましょう

<飲み忘れたとき>

- 2回分は、飲まないようにしましょう
- 処方通り飲めなかったときは、主治医や薬剤師、看護師に伝えましょう

8. 専門家との面談

患者さんご家族のご希望に合わせて、様々な職種との面談や受診相談の調整を行います。

ご希望される場合、医師、看護師にご相談ください

各種専門家のご紹介

・薬剤師・栄養士・歯科衛生士・がん専門相談員・がん看護外来

薬剤師

- 外来で初めて治療を受ける方は、薬剤師から点滴の内容について説明があります
- 必要に合わせて継続して薬剤師の面談を受けられます
- お薬手帳をご持参ください
- 旅行先での体調不良やもしもの災害などに備えて、保険証とお薬手帳は携帯しましょう



歯科衛生士

- 初めて外来化学療法センターで治療を受けられる患者さんに、お口の中のチェックを行うため歯科衛生士が治療中にお部屋にうがいます（無料）
- すでに治療中の方で、お口の中で困っていることがある方は担当の看護師に伝えて下さい。
- ケアの方法の説明や必要に合わせて歯科へ紹介します（＊義歯や齲歯の治療を除く）



栄養士

- ご希望に合わせて、栄養士との面談の予約ができます（有料）
- 摂取カロリーの計算や体調に合う食事内容のご提案を行います



がん看護外来

- がんと診断された患者さん、ご家族の相談窓口です
- 病気や治療、副作用、今後の治療の方向性や療養生活についての悩みや困り事を専門看護師や認定看護師が多職種と連携を図りながら一緒に考え取り組みます
- 診療科の医師や看護師にご相談ください。
診察日や治療日に合わせてご予約をいたします。



がん専門相談員

- 『がん相談支援センター』（1-57）で、がん治療に伴う脱毛、爪や肌など外見の変化、就労・就職など療養上の様々なご相談（無料）に応じます
- お話の内容は、ご了承なく外部に伝わることはありませんので、
気がかりなことがあればお気軽にご相談ください

ご予約・お問合せ先：がん相談支援センター（1-57）
☎ 086-422-0210（代表） ☎ 平日9:00~17:00受付



10. 連絡先

自宅に帰ってから分からないことや困ったことがありましたら、
病院へお問い合わせください

<電話連絡の場合>

- お名前と診察券の番号をお聞きすることがありますので、診察券をお手元にご用意してください

- 連絡先 **倉敷中央病院** **086-422-0210(代表)**

交換手に受診している診療科名もしくは下記の外来各診療科の

内線番号をお伝えいただければ、診療科看護師がご対応いたします

- 電話でのご相談時間 平日8:30～16:00

- 外来診療科と電話番号

血液内科	3971	耳鼻科	3888
呼吸器内科	3972	婦人科	3889
消化器内科	3973	泌尿器科	3890
リウマチ内科	3973	呼吸器外科	3848
外科	3976	脳外科	3848
皮膚・形成外科	3768	外来化学療法センター	3960

<予約外での受診の場合>

- 外来受付 月～金曜日：8:10～11:00
- 夜間、休日、緊急時は救命救急センターへ来院してください
＊21-9時は、時間外選定療養費（7700円）が必要となります

作成部門化学療法運営会議

2015年7月作成

2022年9月修正

確認事項

- ・ 治療を受けるまでに、分からないことがあればメモ欄に記載して、看護師にご質問いただければと思います

確認内容	メモ
治療日の診察・点滴までの流れでご不明な点はありませんか？	
化学療法センターの過ごし方でご不明な点はありませんか？	
治療中の注意点でご不明な点がありませんか？	
高額療養費制度の手続きはできていますか？	
高額療養費制度について専門家による詳しい説明が必要でしょうか？	
日常生活上の注意点でご不明なことはありませんか？	
抗がん薬の周囲への影響でご不明な点はありませんか？	
困ったときの対応方法・連絡先でご不明な点はありませんか？	

- ・ 外来化学療法センターでは、ご希望にあわせて退院前や治療前に見学に来ていただくことができます。ご希望の方は、医師、看護師にご連絡を下さい
- ・ **初めて治療を受ける日**には、このパンフレットをご持参ください